

県民のみなさんへ

熊本県知事 細川護熙
 月日の流れは速いもので、昭和五十九年も残すところあと一か月余りとなってしまいました。
 かえりみますと、今年は、年明けから雪害にみまわれ、六月には、



山崩れによる大惨事が発生するなど、県民一同の痛む思いもいたしましたが、三月には、二十一世紀への夢をかけたテクノポリスの地域指定を受けましたし、ロス・オリンピックの柔道で、山下泰裕選手が優勝し、県民栄誉賞第一号と併せて国民栄誉賞に輝くなど、うれしい出来事も沢山ございました。
 十月四日には、中曽根総理大臣がテクノポリス先進地としての本県を訪問され、本田技研や化血研を視察されました。テクノポリス推進リーダーの方々との懇談の後では、「みんなやる気で熱意をもってやっていることに頼もしさを感じた」と感想を述べられています。
 ところで、県では、今後の県政を展望して、県の将来の発展方向を描いた「熊本・明日へのシナリオ」や、地域の活性化を目指しての「くまもと日本一づくり運動推進要綱」を先頃発表いたしました。県民の皆様方の御理解と御協力をいただき、一日も早く、県民総参加による、活力と個性と潤いに満ちた「強い熊本」が実現できますよう願っております。
 これから年末にかけて、多忙な日が続くことですが、皆様方どうぞくれぐれもお体に気を付けて、お風邪など召しませぬよう、お祈り申し上げます。

県政トピックス

中九州時代到来で見解一致。熊本・大分県知事対談

九月十五日、熊本と大分の県境に近い瀬の本高原の三愛高原ホテルで細川知事と大分県の平松知事の対談が行われた。
 対談では、日本一づくり運動、一村一品運動、人づくり、道路網の整備など両県に共通した問題が活発に話し合われ、今後、両県が一層協力していくことが約束された。



県民の新しい健康ステーション。くまもとと社会保険センターオープン

十月三日、くまもとと社会保険センター（熊本市長嶺町）の落成式が行われた。
 同センターは、四階建のモダンな建物で、研修室、トレーニングルーム、健康相談室などを備えている。十月八日からは「趣味の園芸」を皮切りに、「一講講師陣による、健康づくり、生きがいづくりの各種講座」が開始された。



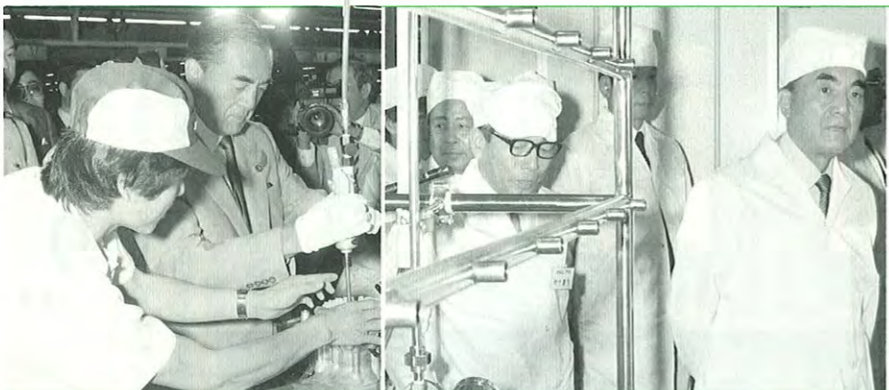
明日の熊本を活発に論議。市町村長会議開催

九月二十七日、県下九十八市町村長が出席して、市町村長会議が行われた。
 席上、知事は県政運営の指針「熊本・明日へのシナリオ」と、この日からスタートした「くまもと日本一づくり運動」について説明を行なうとともに、市町村の協力を求めた。
 この後、質疑応答や、活発な意見交換が行われた。



熊本のハイテクを高く評価。中曽根首相来熊

十月四日、本県のハイテク（先端高技術）視察のため、中曽根首相が来熊した。
 「テクノ・リサーチパーク」建設予定地や県内各地の先端関連施設を熱心に見て回った首相は、本県のハイテク企業の成長ぶりを高く評価した。



アジアの絆を深めて。マレーシアの青年三十人が来熊。

九月二十八日から十月八日までの十二日間、マレーシア青年指導者グループ三十人が研修のため来熊した。
 これは、政府のASEAN（東南アジア諸国連合）青年招へい事業の一環として訪れたもので、ハイテク企業、新聞社、学校などの視察をはじめ、ホームステイ、青年交流シンポジウムなど熊本の若者との友好を深めた。



お正月の行事と芸能をテーマに。第二十六回九州地区民俗芸能大会

十月七日、九州地区民俗芸能大会が県立劇場で開かれた。
 今回は、「正月の行事と芸能」というテーマで、熊本の北岡神社・藤崎八幡宮の松囃子、宮崎の南郷舞恵比須神楽などかず多くの貴重な民俗芸能が紹介された。



楽しいイベントでお祝い。阿蘇国立公園五十周年記念式典

阿蘇国立公園は、昭和九年十二月四日に国立公園に指定されたから、ちょうど五十周年を迎えた。
 これを祝って、県上げ大会、野外コンサート、国際彫刻シンポジウムなど多彩な行事が繰り広げられた。また、その締めくくりとして、十月八日には阿蘇町立体育館に約八百人の関係者を集め、記念式典が開かれた。

